

我が家の耐震対策

すじかいと接合金物

すじかいを入れたり、地震の揺れで分解しないように、すじかいの両端や柱を「接合金物」で固定することも大事です。

壁の補強とバランス

開口部（ガラス戸など）が多いと地震に弱く、壁の量を増やすと丈夫になります。バランスよく耐力壁を配置します。

腐杭部材の交換

柱や土台の腐杭部分は新しいものに交換します。特に湿気の多いところは早く腐ります。

雨漏り

屋根の軽量化

特に壁が少ない場合は屋根の軽量化が必要です。

控壁

ブロック塀の点検・補強

厚さ・高さ・基礎・目地・控壁などのチェックが必要です。撤去や生垣に変えることも有効です。

基礎の補修

基礎にひび割れがあれば、補修や補強を行います。

伯耆町では住宅の耐震を支援しています。

- 建築物の所有者が行う耐震診断・耐震改修の促進を図るための支援
震災に強いまちづくりを促進するため、所有者等が行う耐震診断、耐震改修等を支援する事業を行います。
- 税の優遇措置
耐震化を図ることにより、税の優遇措置を受けることができます。
- 町有施設の耐震化
学校などの町有施設について耐震診断、耐震改修のほか耐震化に関する事業を行います。

住宅の耐震に関する相談窓口

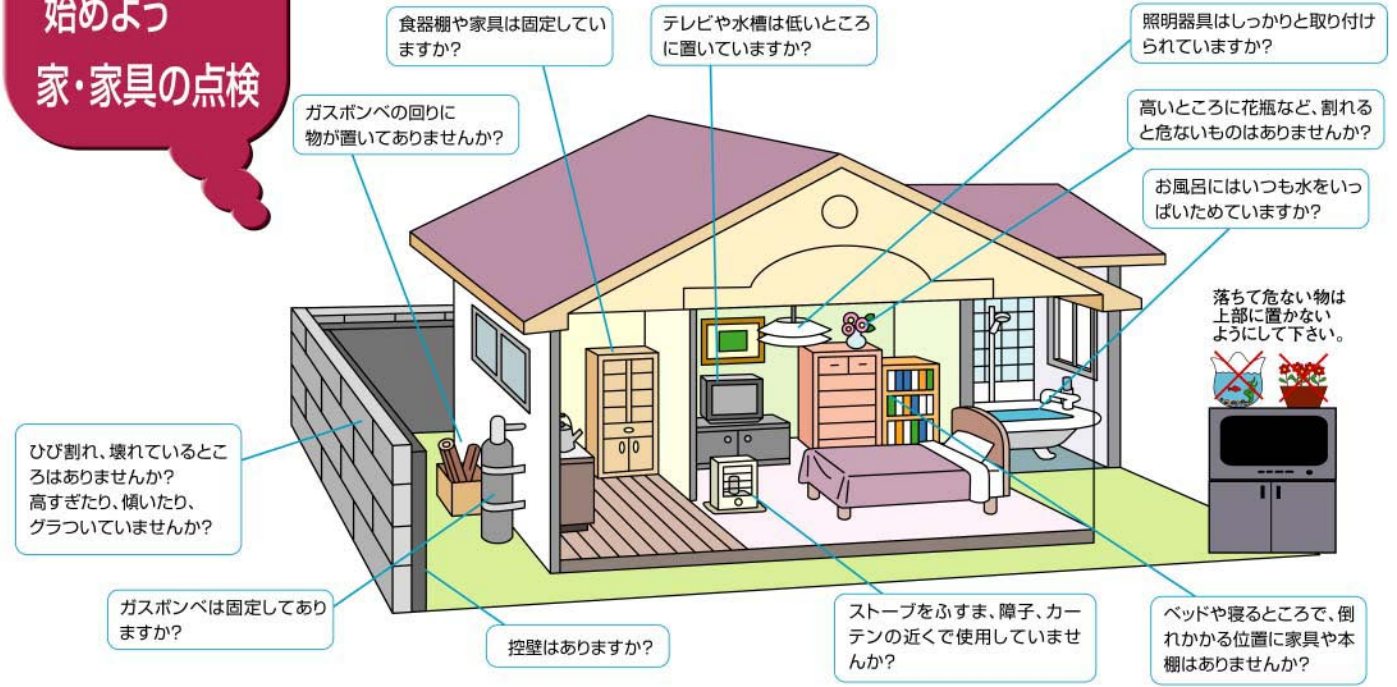
お気軽にご相談ください。



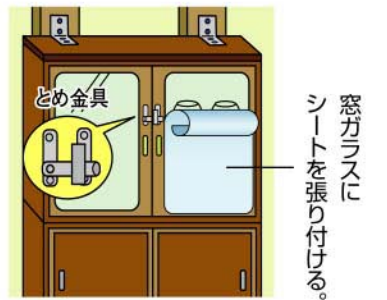
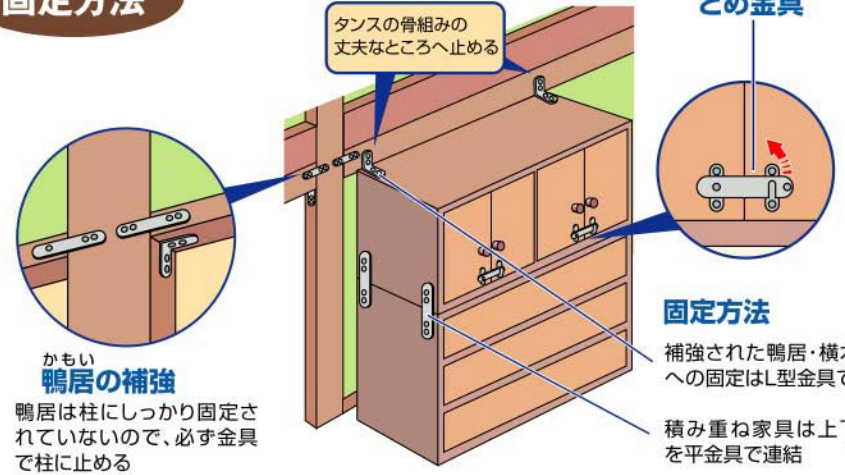
耐震診断および耐震改修等に関する相談窓口

鳥取県 生活環境部 暮らしの安心局 住宅政策課 0857-26-7697/7391
鳥取県 西部総合事務所 生活環境局 建築住宅課 0859-31-9753 伯耆町役場 総務課 0859-68-3111

できることから始めよう 家・家具の点検



固定方法



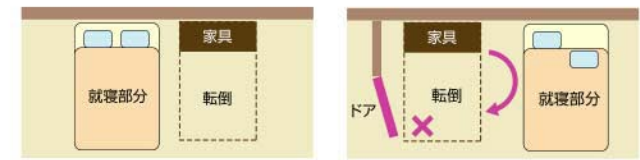
家具の両端・奥にポールを設置する。



家具の配置

家具などの配置を工夫することも有効です。まずは手軽にできることから始めてみましょう。

壁を背にした家具は前方に倒れるので、家具の側方に寝るのが安全です。家具が倒れて出入口を塞がれると、避難できなくなります。



- 寝室や子供・高齢者の部屋、出入口付近にはできるだけ背の高い家具や倒れそうなものは、置かないようにしましょう。
- 就寝位置を家具から離したり、転倒しにくい側方とするといった方法も考えられます。頭の上にもものが落ちてこない所に寝ましょう。

寝ているとき

- 暗闇では、割れたガラスや照明器具の破片でけがをしやすいので注意をしましょう。
- 枕元には、厚手の靴下やスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオなどを置いておき、避難が出来る準備をしておきましょう。

